

報恩講法要御案内

わしゃしやわせ よい耳もろた ごんとなつたる鐘の音
親のきたれのごさいそく 浄土へやろをの 親のごさいそく
(浅原才市)

さて、今年も報恩講が近づいて参りました。

この歌は妙好人、浅原才市さんのお聴聞のお姿がよく表れています。

「私は本当に幸せ者だ。如来様のみ教えを有難く、楽しく、聞かせて頂ける心の耳をもらった」と慶んでおられます。そして、ひとたびお法(みのり)を聞く耳が開かれたならば「ごーん」と鳴り渡る梵鐘の声を聞いても、「ご法座が勤まるぞ。参って来いよ。お浄土へつれて帰る親のいることに気付いてくれよ。」と私を御さいそく下さる親様のみ教えと頂かれています。

この度は『お浄土に参る宗教』という講題です。お浄土に来たれとの親様のお喚び声を私たち共々に聞かせて頂きましょう。

9月の彼岸会法要では、ご近所の方々のみの参詣をお願いしておりましたが、報恩講法要では制限は致しません。感染症対策はしておりますので、皆様御参詣のほど、お待ち申し上げます。

日時 10月26日(月)午後1時半

講師 本願寺派布教使 安方 哲爾 師

講題 『お浄土に参る宗教』